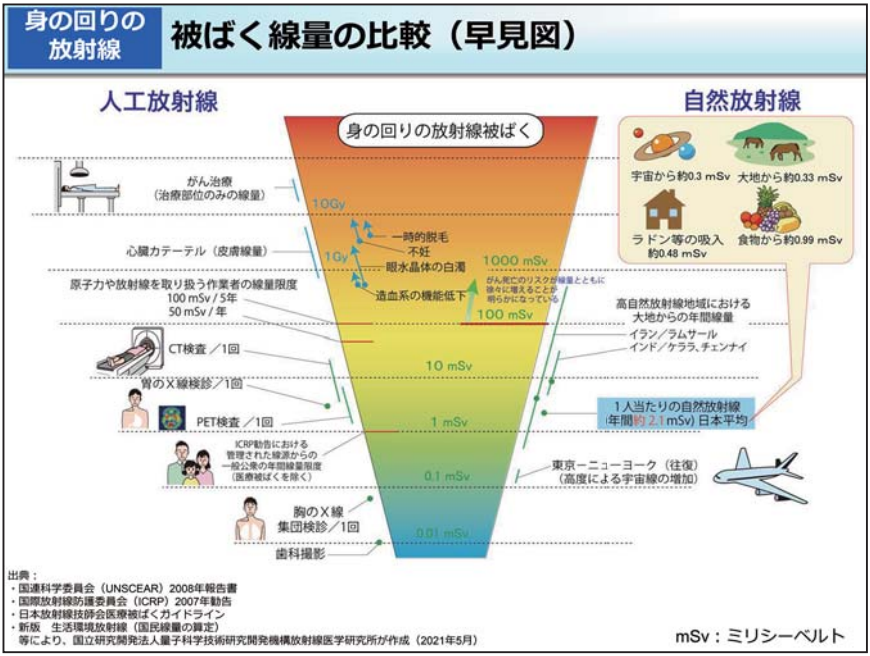

日常生活で受ける放射線の量を比較すると、放射線治療のような特殊なケースを除き、１回の行為当たりの線量や年間当たりの線量は、ミリシーベルト単位のものがほとんどです（上巻 P76「診断で受ける放射線量」）。

なお、人への健康影響が確認されている被ばく線量は、100ミリシーベルト以上であると考えられています。

本資料への収録日：2013年３月31日
改訂日：2022年３月31日